

令和3年7月号 (R3年6月撮影)

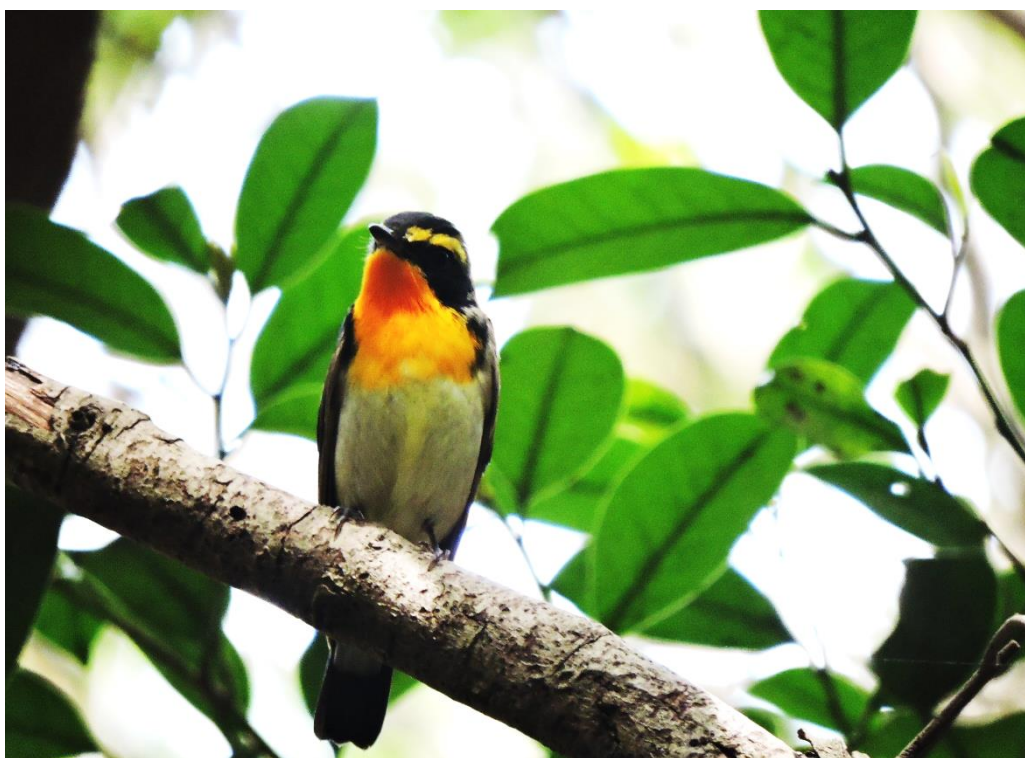
1. キビタキ【黄鶺】 (スズメ目ヒタキ科^山ヒタキ亜科) (渥美半島にて撮影)

全長 13~14cm。雄は頭部から背面にかけて黒く、眉斑、腹部と腰は黄色。翼に白い斑がある。喉は鮮やかな橙黄色です。四回目の登場、キビタキですがいい声でもなくし、見た目もきれいな鳥です。今年はやってくるのが、ちょっと遅かったような気がしました。山の中で枝にとまってこちらを見ている時は、胸の橙黄色が、柑橘系の実がなっているように見えます。鳴き声は、澄んだ声でいろんな鳴き方をします。基本的な鳴き方はありますが、ウグイスの真似をしてないたり、セミのツクツクボウシの真似をしてないたりもします。



(上：令和3年6月17日撮影)

(下：平成30年4月26日撮影)



結構人懐っこいというか、好奇心が強いというか、他の鳥を撮影していると、撮影している人間の近くの枝にとまり、見に来ることが時々あります。写真はすべて雄の写真です。メスは地味な色をしていて、知っている人でないと、なかなかキビタキだとわかりません。

今回はコマドリをなんとか撮影しようと粘ったんですが、コマドリは鳴き声だけ聞こえて、姿は見せてくれませんでした。でもキビタ

キたちが、せっせとポーズをとってくれたのでOK。ちなみに、写真のキビタキは眉の色が黄色ですが、白い色のキビタキもいて、「マミジロキビタキ」といい、まれに来る旅鳥ですが、見れたらラッキーですね。いつまでもこの自然が残ってくれるといいですが。